令和８年１１月１６日

報道解禁（文化審議会文化財分科会終了後）
テレビ・ラジオ・インターネット
　令和８年１１月２０日（金）１７時以降
新聞
　令和８年１１月２１日（土）　朝刊

担当課：福岡県教育庁教育総務部
文化財保護課
直　通：092-643-3875
内　線：5388
担　当：松本

国登録有形文化財（建造物）の登録について

○　国の文化審議会（会長　日比野克彦）は、令和８年１１月２０日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに１２１件の建造物を国登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申する予定です。

○　この中で福岡県関連の国登録有形文化財（建造物）は１４件です。官報告示後、福岡県内の国登録有形文化財（建造物）は計２７６件となる予定です。

［答申予定の国登録有形文化財（建造物）］

栃木ビル（旧栃木商事株式会社事務所）計１件（北九州市若松区本町１丁目 64-1 他）

佐々木家住宅主屋・玄関棟及び渡廊下・離れ座敷・浴室及び渡廊下・北蔵・西蔵・南蔵・新蔵・表門・西門・通用門・北塀・東塀　計 13 件（三井郡大刀洗町大字本郷 4542 他）

【本資料に関する問合せ先】
福岡県教育庁教育総務部文化財保護課（担当：松本将一郎）　電話 092-643-3875
＊本資料の写真画像提供を御希望の方は、上記連絡先にお問い合わせください。

【栃木ビル（旧栃木商事株式会社事務所）に関する問合せ先】
北九州市都市ブランド創造局総務文化部文化企画課（担当：塚本育恵）　電話 093-582-2391

【佐々木家住宅に関する問合せ先】
大刀洗町教育委員会生涯学習課（担当：髙岡威）　電話 0942-77-2671

［国登録有形文化財（建造物）の説明］

杤木（とちき）ビル（旧杤木商事株式会社事務所）

所在地　　福岡県北九州市若松区本町１丁目 64-1 他

構造形式　　鉄筋コンクリート造地上三階地下一階建、建築面積 116 ㎡

建築年代　　大正９年建築／昭和 21 年増築・改修

登録基準　　（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの

概要

杤木ビル（旧杤木商事株式会社事務所）は、北九州市若松区に位置しており洞海湾（どうかいわん）に面した若戸大橋（わかとおおはし）の近傍に建つ。若松は江戸時代から筑豊炭田で産出された石炭の積出港として繁栄し、明治時代には港湾と鉄道の整備によって陸上・海上輸送の拠点となり、全国屈指の石炭積出港として発展した。

杤木商事株式会社は、明治 34 年（1901）に、杤木順作商店として創業し、大正 4 年年（1915）には、同商店が営んでいた海陸運送業、石炭販売業、代理業、請負業、鉄工造船業などの業務を受け継いで当社が設立された。

杤木ビルは、杤木商事株式会社の事務所として大正９年（1920）に建築された。建築は、鉄筋コンクリート造三階建地下一階で、台形平面で各階に事務室を配す。外観は一階が石張で、玄関上部にペディメントを付し、上部はタイル張で柱形（はしらがた）を三層通す。海運で栄えた若松の往時の景観を伝える事務所ビルであり、歴史的景観に寄与する建造物として評価された。

＜参考＞

「国登録有形文化財（建造物）の登録基準」

建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、原則として建設後 50 年を経過し、かつ、次の各号のいずれかに該当するもの。

（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの

（二）造形の規範となっているもの

（三）再現することが容易でないもの

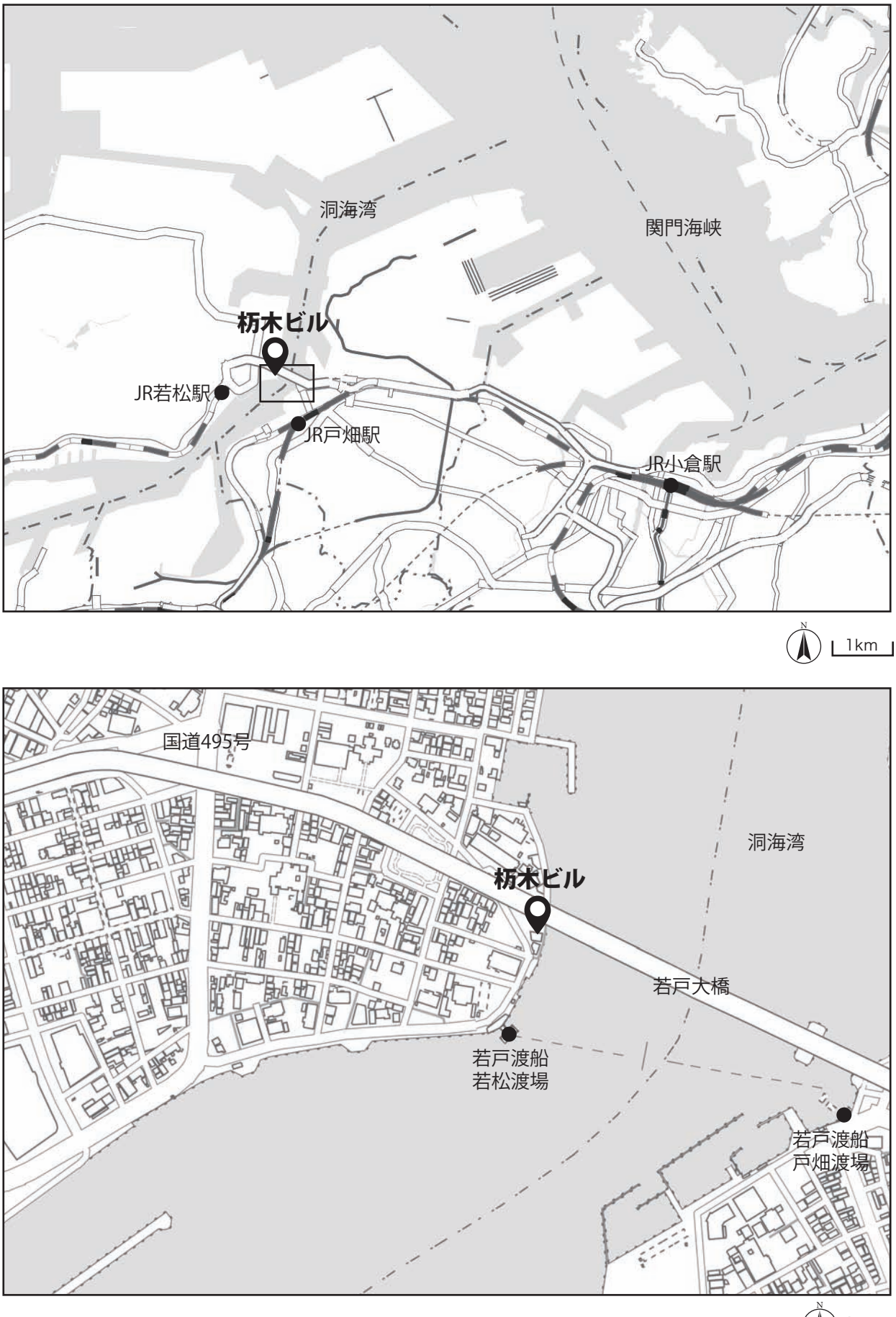


図１ 栃木ビル（旧栃木商事株式会社事務所）位置図（国土地理院地図を基に作成）



写真１　杤木ビル（旧杤木商事株式会社事務所）
正面外観（北九州市提供）



写真２　杤木ビル（旧杤木商事株式会社事務所）
背面外観（北九州市提供）



写真３　杤木ビル（旧杤木商事株式会社事務所）
２階応接室（北九州市提供）

［国登録有形文化財（建造物）の説明］

佐々木家住宅主屋・玄関棟及び渡廊下・離れ座敷・浴室及び渡廊下・北蔵・西蔵・南蔵・新蔵・表門・西門・通用門・北塀・東塀

所在地　福岡県三井郡大刀洗町大字本郷 4542 他

構造形式（建築年代／改修年代）

主屋　：木造二階一部平屋建、瓦葺、建築面積 272 ㎡（明治 6 年／昭和前期増築・同 61 年頃・平成 10 年改修）

玄関棟及び渡廊下：木造平屋建、瓦葺、建築面積 56 ㎡（明治 37 年）

離れ座敷：木造平屋建、瓦葺一部銅板葺、建築面積 128 ㎡（明治 38 年）

浴室及び渡廊下：木造平屋建、瓦葺、建築面積 34 ㎡（明治 40 年／平成 4 年頃改修）

北蔵　：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 44 ㎡（明治 37 年／昭和 63 年改修）

西蔵　：土蔵造平屋建一部二階建、瓦葺、建築面積 53 ㎡（明治前期／昭和 62 年頃・平成 16 年頃改修）

南蔵　：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 59 ㎡（江戸後期／昭和前期増築）

新蔵　：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 30 ㎡（明治後期／昭和 61 年頃改修）

表門　：木造、瓦葺、間口 2.3m（明治前期／昭和 63 年改修）

西門　：木造、瓦葺、間口 2.9m（明治前期／昭和中期改修）

通用門：木造、瓦葺、間口 2.9m、倉庫付（昭和前期）

北塀　：木造、瓦葺、延長 12m（昭和前期）

東塀　：木造、瓦葺、延長 12m（明治 38 年頃）

登録基準

（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの

主屋、玄関棟及び渡廊下、浴室及び渡廊下、北蔵、西蔵、南蔵、新蔵、表門、西門、通用門、北塀、東塀

（二）造形の規範となっているもの

離れ座敷

概要

佐々木家住宅は、筑後平野北東部の大刀洗町本郷に位置し、旧街道沿いに北面して敷地を構える。佐々木家は木蝋製造を営んだ素封家で、明治期に養蚕や製糸業を展開した。

主屋は、東西棟の正面中央に入母屋造の角屋を突出させる。西に豪快な梁組を見せる土間、東に居室を配して東西に中廊下を通し、居室部の上部に二階座敷を設ける。建築年代は棟札より明治６年（1873）、大工棟梁は牟田茂市である。

玄関棟及び渡廊下は、玄関棟が敷地東端北寄りに北面して建ち、渡り廊下で主屋と接続する。玄関棟は、入母屋造妻入で正面に扇垂木の式台玄関を構える。南北に八畳座敷と六畳次の間を配し鉄刀木の床柱や彫刻欄間を備える。建築年代は墨書より明治 37 年（1904）、大工は間文三である。

離れ座敷は、敷地東寄り中央に位置し、庭に面して建つ。十五畳の座敷と十畳の次の間を並べて広縁を廻し、床や棚に鉄刀木や黒檀等の銘木を用いる。硝子建具を多用する開放的で上質な接客空間である。建築年代は墨書より明治 38 年（1905）、大工棟梁は高山勘七である。

賓客用の浴室及び便所は、座敷の南方に建ち、小屋根付の塀を建て、銅板葺の屋根を架けた渡廊下で離れ座敷と結ぶ。建築年代は墨書より明治 40 年（1907）である。

北蔵・西蔵は、旧街道に面して主屋角屋と並び、各建物間に一間薬医門の表門、西門を開く。北蔵は、南方で主屋と接続する。北蔵・西蔵共に二階建で、外壁は漆喰塗で腰を簀子下見板張とする。建築年代は、北蔵は墨書より明治 37 年、西蔵・表門・西門は明治前期である。

南蔵は主屋の南方に、新蔵は浴室の西隣に建つ。共に外壁は上部を漆喰塗で、腰を海鼠壁とする。建築年代は南蔵は江戸時代後期で当家に残る最古の建築であり、新蔵は明治後期である。

通用門は、主屋の南西隅に接続し、敷地を表側と裏側に区画する。切妻造桟瓦葺の門で、建築年代は昭和前期である。

街道沿い東半は、主屋角屋から東門を挟み敷地東端にかけて、桟瓦葺屋根を載せた北塀が区画する。敷地東辺は、玄関棟より北方を東塀が区画する。建築年代は北塀が昭和前期、東塀が明治 38 年頃である。

佐々木家住宅は、県内でも大規模な近代和風建築の住宅である。離れ座敷は、造形の規範となる建造物として評価され、主屋をはじめとするその他の建造物は、歴史的景観に寄与する建造物として評価された。





図１ 佐々木家住宅位置図（国土地理院地図を基に作成）



図２ 佐々木家住宅配置図



写真１　佐々木家住宅全景（北東から）
（福岡県教育委員会提供）



写真２　佐々木家住宅主屋　内部土間
（大刀洗町教育委員会提供）



写真３　佐々木家住宅
玄関棟及び渡り廊下
（大刀洗町教育委員会提供）



写真４　佐々木家住宅離れ座敷
（大刀洗町教育委員会提供）



写真５　佐々木家住宅離れ座敷　内部
（大刀洗町教育委員会提供）



写真６　佐々木家住宅
浴室及び渡廊下
（大刀洗町教育委員会提供）



写真７　佐々木家住宅
表門・北蔵・西門
（大刀洗町教育委員会提供）



写真８　佐々木家住宅西蔵
（大刀洗町教育委員会提供）



写真９　佐々木家住宅南蔵
（大刀洗町教育委員会提供）



写真 10　佐々木家住宅新蔵
（大刀洗町教育委員会提供）



写真 11　佐々木家住宅通用門
（大刀洗町教育委員会提供）



写真 12　佐々木家住宅東塀・北塀
（大刀洗町教育委員会提供）